

目次 : Stat-Ease 360 v23 インストール手順

| | |
|---|-----------|
| Windows 版のインストール手順 | 1 |
| システム要件..... | 1 |
| インストールの準備 | 1 |
| インストールのステップ | 2 |
| アクティベーション | 3 |
| アクティベーションに関する問題 | 4 |
| 使用許諾 | 5 |
| Registration (開発元へのユーザー登録)..... | 6 |
| チュートリアルにアクセスするには | 6 |
| macOS 版のインストール手順 | 7 |
| システム要件..... | 7 |
| インストール..... | 7 |
| アクティベーション | 8 |
| アクティベーションに関する問題 | 10 |
| チュートリアルにアクセスするには | 11 |
| ネットワーク・クイックスタートガイド | 12 |
| 概要 | 12 |
| Network Bundle をダウンロードして展開する | 12 |
| コマンドプロンプトを起動する | 13 |
| 仮想サーバーの Host ID を特定する | 13 |
| インターネット経由のアクティベーション..... | 14 |
| マニュアルによるアクティベーション..... | 14 |
| Reprise License Manager のインストールとサービスの開始 | 14 |
| Stat-Ease をクライアントマシンにインストールする..... | 15 |
| 重要な注意事項 | 16 |
| 管理コンソール..... | 16 |
| サービスの停止と削除 | 17 |
| ネットワーク版のインストール手順 | 18 |
| ネットワーク版の概要 | 18 |
| 使用許諾 | 18 |
| ライセンスサーバーの動作環境 | 18 |
| ライセンスサーバーのインストール手順..... | 18 |
| Network Bundle | 18 |
| アクティベート | 19 |
| RLM をサービスとしてインストールする | 19 |
| クライアントマシンに Stat-Ease をインストールする | 19 |

| | |
|--|-----------|
| ワークステーションのセットアップ | 20 |
| ライセンスのローミング | 20 |
| HOST 行のみからなるライセンス | 21 |
| クライアントのインストール | 21 |
| 使用許諾 | 21 |
| クライアントのインストール手順 | 22 |
| プログラムをアンインストールするには | 23 |
| プログラムを起動する | 23 |
| 構成ファイル | 23 |
| ネットワーク版のインストールに関する注記 | 24 |
| 操作 | 24 |
| 仮想サーバー | 25 |
| ライセンスファイル | 25 |
| トラブルシューティング | 25 |
| アクティベーションエラー | 25 |
| 操作上の問題 | 32 |
| テクニカルサポート | 32 |
| インストールに関する FAQ | 34 |
| ネットワークライセンスのインストールに関する FAQ | 34 |
| ネットワーク版をインストールするにはどうしたら良いですか？ | 34 |
| ライセンスサーバーを実行するのはなぜですか？ | 34 |
| ライセンスサーバーをインストールするにはどうしたら良いですか？ | 34 |
| RLM をサービスとしてインストールするにはどうしたら良いですか？ | 34 |
| Stat-Ease をクライアントマシンにインストールするにはどうしたら良いですか？ | 35 |
| クライアントのインストールを自動化するにはどうしたら良いですか？ | 35 |
| ネットワークライセンスのアクティベーションに関する FAQ | 35 |
| dex_activate プログラムでライセンスファイルの書き出しができません。ライセンスを入手するにはどうしたら良いですか？ | 35 |
| プロキシサーバーを使ってインターネット経由のアクティベーションを行うにはどうしたら良いですか？ | 35 |
| ネットワークライセンスのアクティベーションには dex_activate.exe が必要ですか？ | 36 |
| インターネット接続環境に無い場合、アクティベーションを行うにはどうしたら良いですか？ | 36 |
| ネットワークライセンスの操作に関する FAQ | 37 |
| 使用状況をモニターするにはどうしたら良いですか？ | 37 |
| 仮想サーバーでライセンスサーバーを実行できますか？ | 37 |
| トラブルシューティング | 37 |
| 自分のライセンスファイルはどこにありますか？ | 37 |
| 製品がサポートされていないというエラーメッセージが出るのはなぜですか？ | 38 |
| クライアントで connection refused (接続が拒否されました) というサーバーエラーが生じる原因は何ですか？ | 39 |
| クライアントで生じるエラー「bad server hostname in license file or port@host」はどういう意味ですか？ | 39 |
| システムクロックは正常なのに「system clock has been set back」エラーが生じるのは何故ですか？ | 39 |

Windows 版のインストール手順

Design-Expert と Stat-Ease 360 のシングルユーザーライセンス (Windows 版) のインストール手順について説明します。

システム要件

ハードウェアと OS に必要な条件は以下のとおりです：

| Component | Minimum |
|------------------|---|
| Processor | 1 GHz |
| Hard Drive | 250 MB free space |
| Memory | 2 GB |
| Display | 1024x768 |
| Operating System | Windows 8.1 Windows 10 Windows 11 |

Windows XP とは互換性がない点に注意して下さい。上記の OS へのアップグレードをご検討ください。

インストールの準備

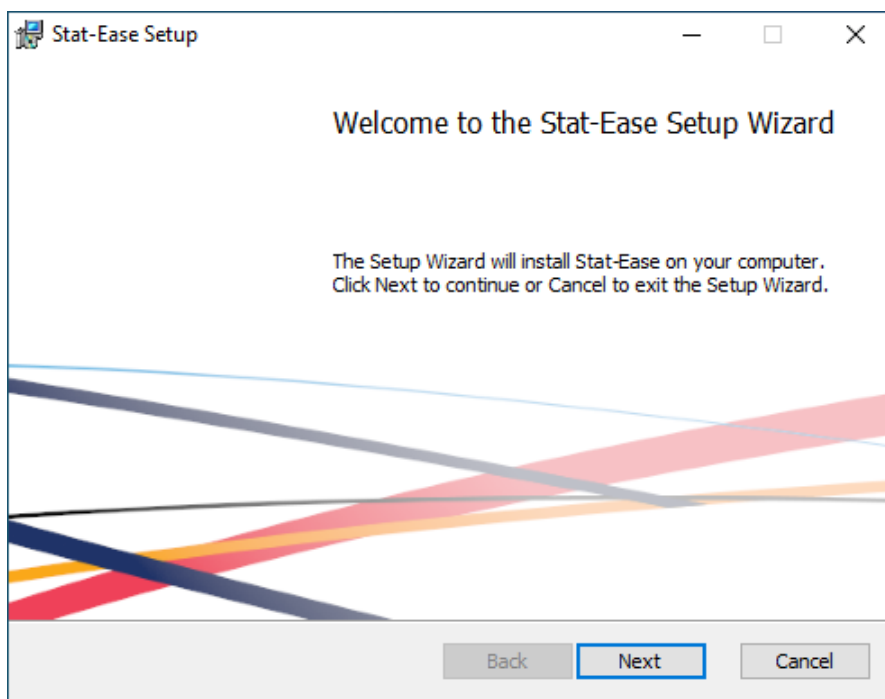
※Mac 環境にインストールする場合は、[こちら](#)をご覧ください。

まず、ソフトウェアのインストーラをご用意します。Stat-Ease 360 をインストールする場合も、Design-Expert をインストールする場合も、使用するインストーラは同じです。開発元のウェブサイトからインストーラをダウンロードした場合は、お使いの PC の「ダウンロード」フォルダにインストーラは保存されているはずですが、インストーラの名称は以下のとおりです ([[version](#)] はソフトウェアをダウンロードした時期によって変わります)：

| OS | Filename |
|--------|--|
| 32-bit | se- [version] .0-x86.ms i |
| 64-bit | se- [version] .0-x64.ms i |

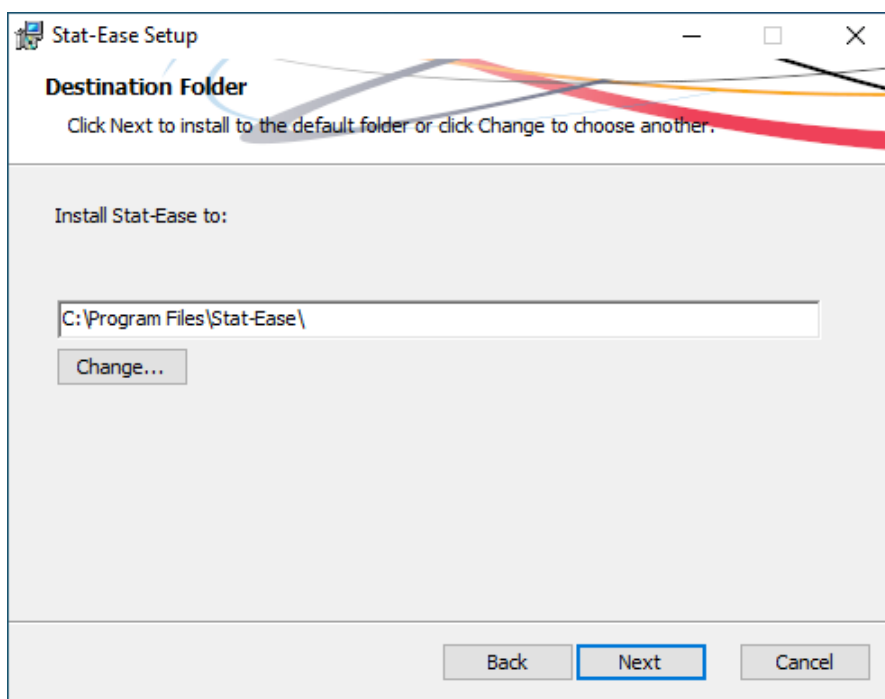
お使いの OS が 32-bit か 64-bit か分からない場合は、64-bit 版のインストーラを選択してください。

インストーラをダブルクリックして、インストーラを開始します。**Next** をクリックします。

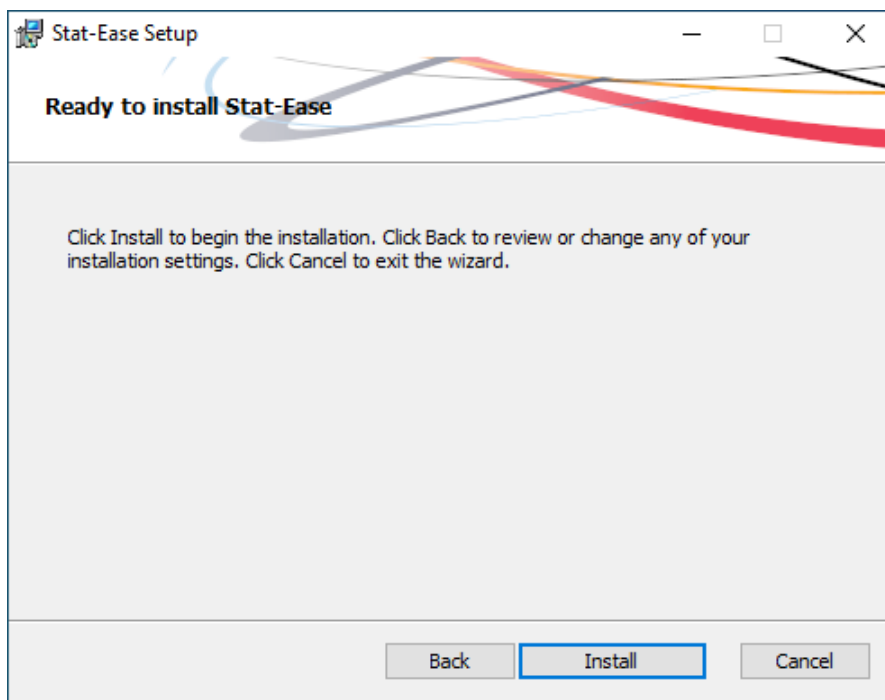


インストールのステップ

インストール先のパスが表示されます。デフォルトのパスが推奨されますが、**Change...** ボタンで変更することも可能です。**Next** をクリックします。

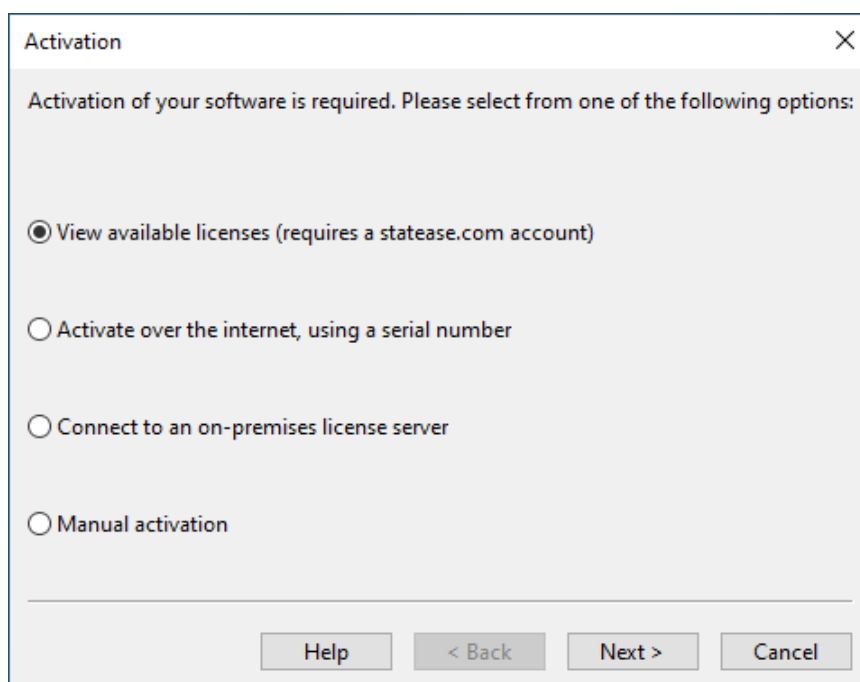


Install ボタンをクリックしたら、Windows UAC のポップアップが表示されますので、**Yes** をクリックしてインストールを進めてください。



アクティベーション

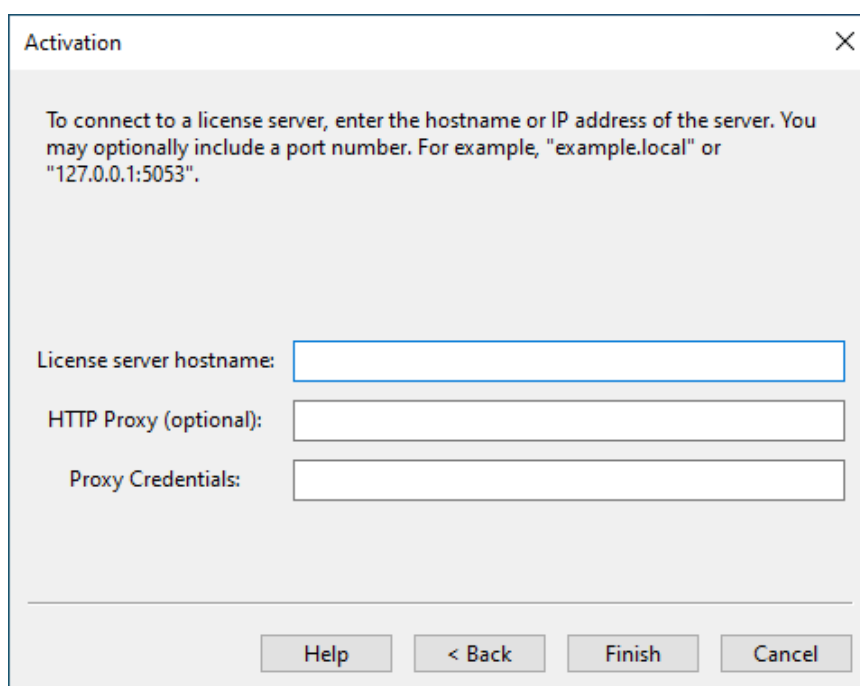
プログラムを最初に起動すると、アクティベーション画面が表示されます。アクティベーションには複数のオプションが用意されています。



ホスト型ライセンス (Stat-Ease 社のクラウドサーバーを使用するライセンス) をお持ちの方は、“**View available licenses**” を選択して **Next** をクリックします。お持ちの stateease.com アカウントでログインし、プロンプトが表示されたら **Authorize** をクリックします。表示されたライセンスを選択して **Next** をクリックしたら、**Finish** をクリックすることでアクティベーションが完了します。

シングルユーザーライセンスをお持ちの方も、最初のオプションを使ってアクティベートできますが、シリアル番号が分かっている場合は、2番目のオプション “**Activate over the internet**” を選択して、16桁のシリアル番号 (ハイフンを含む) を入力して **Finish** をクリックします。

ローカルな**ネットワークライセンス**をご利用されている方は、“**Connect to an on-premise license server**” を選択して **Next** をクリックします。お使いの環境のライセンスサーバーのホスト名または IP アドレスを入力したら、**Finish** をクリックします (プロキシサーバーを使用していない場合)。お使いのシステムにプロキシサーバーがある場合は、プロキシのホスト名を入力します。ホスト名の入力には、`host_name:port_number` の形式を使います (プロキシが使用するポート番号がデフォルトの 8080 でない場合は `port_number` を指定してください)。プロキシの Credentials (資格情報) を設定する必要がある場合は、`user:password` の形式で入力します。なお、サポートされているのは BASIC 認証タイプのみであることに注意してください。

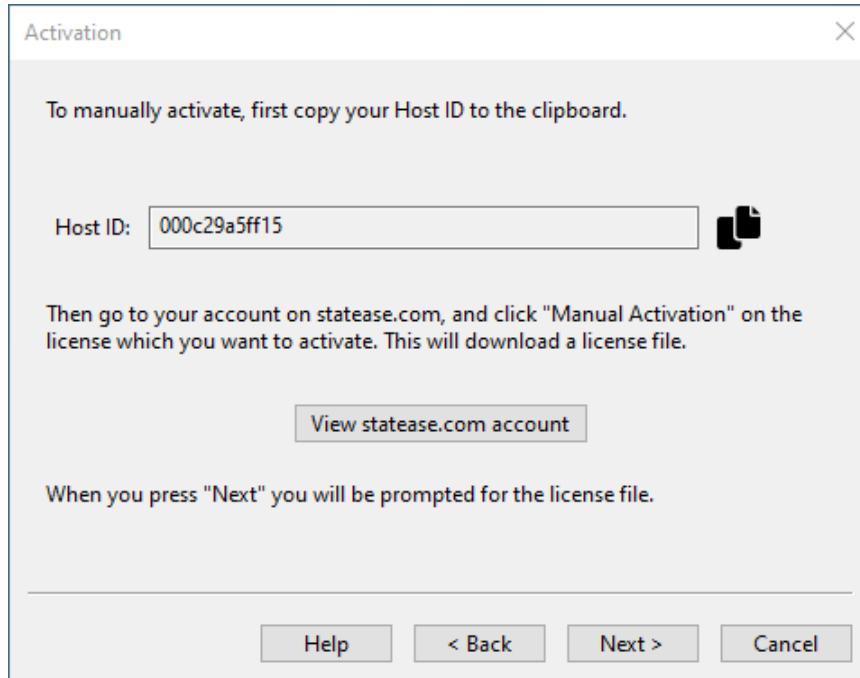


詳しくは、[ネットワーク版のインストール手順](#)をご覧ください。

アクティベーションに関する問題

シングルユーザーライセンスのアクティベーションがうまくいかない場合は、“**Manual activation**” オプションを選択します。ボタンをクリックして、自分のアカウントにログインすると、ライセンスファイルが手動で生成されますので、生成されたライセンスファイルを保存してください。アクティベー

ションウィンドウに戻ったら、**Next** をクリックして、**Browse for License** ボタンをクリックして保存したライセンスファイルを指定します。**Finish** をクリックするとアクティベーションが完了します。もし、うまくアクティベートできない場合は、前の画面で表示された Host ID とシリアル番号を添えて、開発元または弊社サポートまでお知らせください。

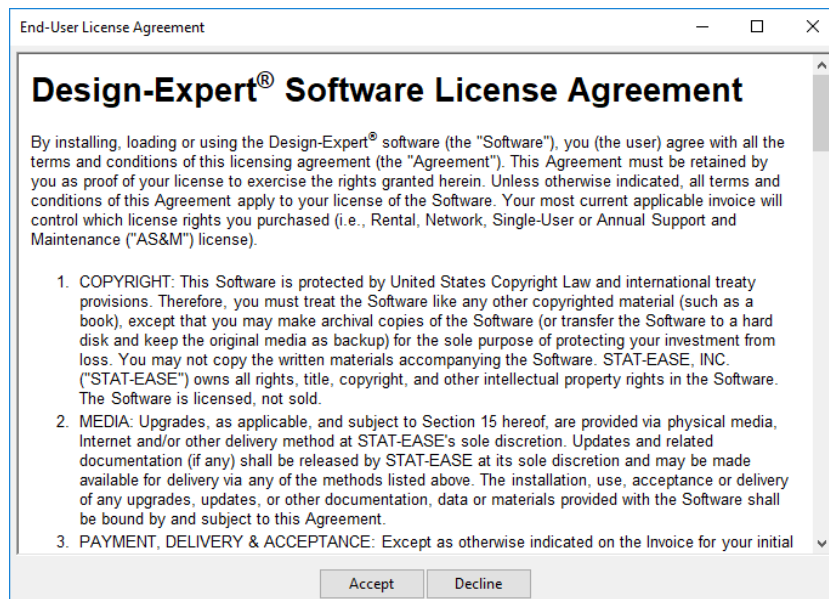


ホスト型ライセンス (Stat-Ease 社のクラウドサーバーを使用するライセンス) で問題が生じる場合は、開発元または弊社サポートまでご連絡ください。

ローカルネットワークライセンスで問題が生じる場合は、ライセンス管理者か、開発元又は弊社サポートまでご連絡ください。

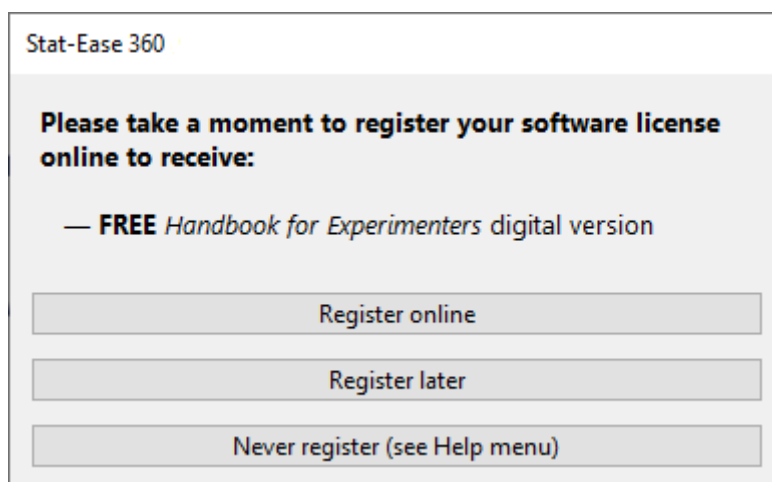
使用許諾

アクティベーションが無事完了すると、End-User License Agreement が表示されます。使用許諾契約をお読みいただき、条項について同意される場合は **Accept** を押してください。Registration (開発元へのユーザー登録) は、**Help > Register Online...** を使ってあとから行うことも可能です。



Registration (開発元へのユーザー登録)

Register online を使ってオンラインによる開発元へのユーザー登録をご検討ください。ソフトウェアを初めてインストールする際に、開発元へのユーザー登録オプションが表示されます。開発元へのユーザー登録は、後から Help メニュー、または statease.com アカウントを通じていつでも登録できます。



チュートリアルにアクセスするには

チュートリアルは、Help システムに含まれています。プログラムの Help メニューからたどることができます。また、同じ内容のチュートリアルは statease.com からアクセスすることもできます。

macOS 版のインストール手順

Design-Expert と Stat-Ease 360 のシングルユーザーライセンス (Mac 版) のインストール手順について説明します。

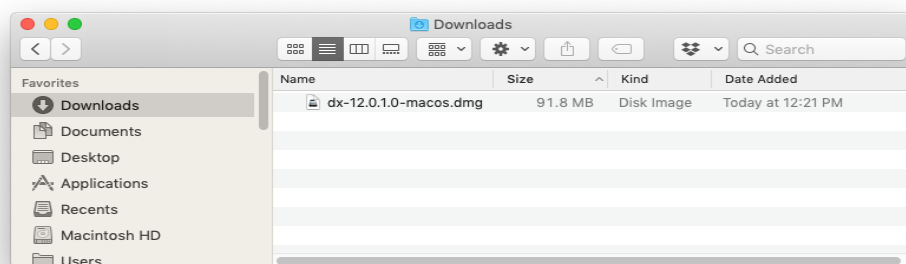
システム要件

ハードウェアと OS に必要な条件は以下のとおりです：

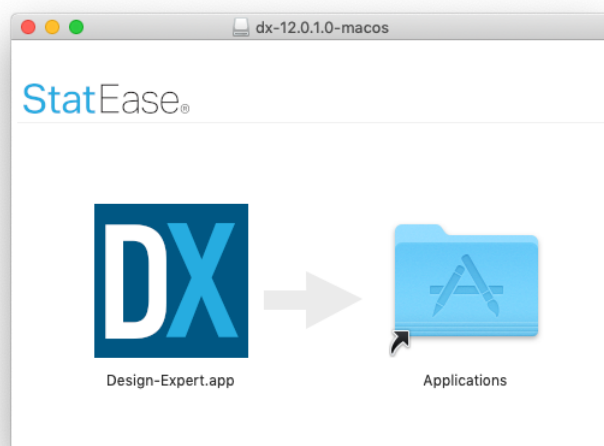
| Component | Minimum |
|------------------|-----------------------|
| Processor | 1 GHz |
| Hard Drive | 250 MB free space |
| Memory | 2 GB |
| Display | 1024x768 |
| Operating System | macOS 10.15 or higher |

インストール

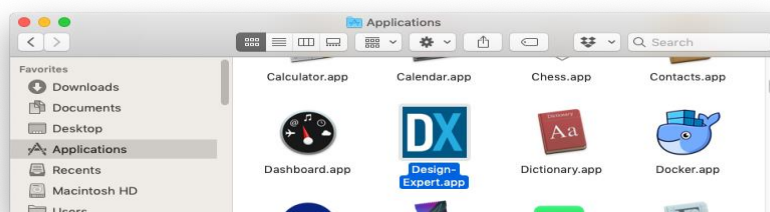
macOS では、“se-[VERSION].0-x64.dmg” という名称のファイルをダウンロードします (バージョンはソフトウェアをダウンロードした時期によって変わります)。開発元のウェブサイトからインストーラをダウンロードした場合は、**Downloads** フォルダにインストーラが保存されます。



インストーラを起動するには、このファイルをダブルクリックします。



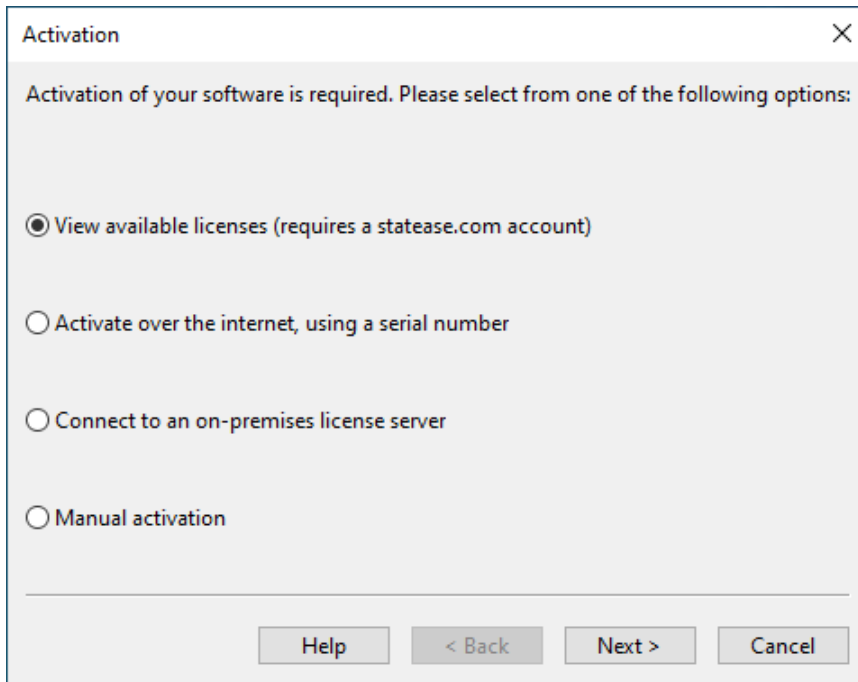
表示された画面上で、DX アイコンをマウスでクリックして、Applications フォルダにドラッグします。インストール作業は以上で完了です。



Applications や Launchpad に Design-Expert が表示されます。

アクティベーション

プログラムを最初に起動すると、アクティベーション画面が表示されます。アクティベーションにはいくつかのオプションが用意されています。



ホスト型ライセンス (Stat-Ease 社のクラウドサーバーを使用するライセンス) をお持ちの方は、“**View available licenses**” を選択して **Next** をクリックします。お持ちの statease.com アカウントでログインし、プロンプトが表示されたら **Authorize** をクリックします。表示されたライセンスを選択して **Next** をクリックしたら、**Finish** をクリックすることでアクティベーションが完了します。

シングルユーザーライセンスをお持ちの方も、最初のオプションを使ってアクティベートできますが、シリアル番号が分かっている場合は、2番目のオプション “**Activate over the internet**” を選択して、16桁のシリアル番号 (ハイフンを含む) を入力して **Finish** をクリックします。

ローカルな**ネットワークライセンス**をご利用されている方は、“**Connect to an on-premise license server**” を選択して **Next** をクリックします。お使いの環境のライセンスサーバーのホスト名または IP アドレスを入力したら、**Finish** をクリックします (プロキシサーバーを使用していない場合)。お使いのシステムにプロキシサーバーがある場合は、プロキシのホスト名を入力します。ホスト名の入力には、`host_name:port_number` の形式を使います (プロキシが使用するポート番号がデフォルトの 8080 でない場合は `port_number` を指定してください)。プロキシの Credentials (資格情報) を設定する必要がある場合は、`user:password` の形式で入力します。なお、サポートされているのは BASIC 認証タイプのみであることに注意してください。

Activation

To connect to a license server, enter the hostname or IP address of the server. You may optionally include a port number. For example, "example.local" or "127.0.0.1:5053".

License server hostname:

HTTP Proxy (optional):

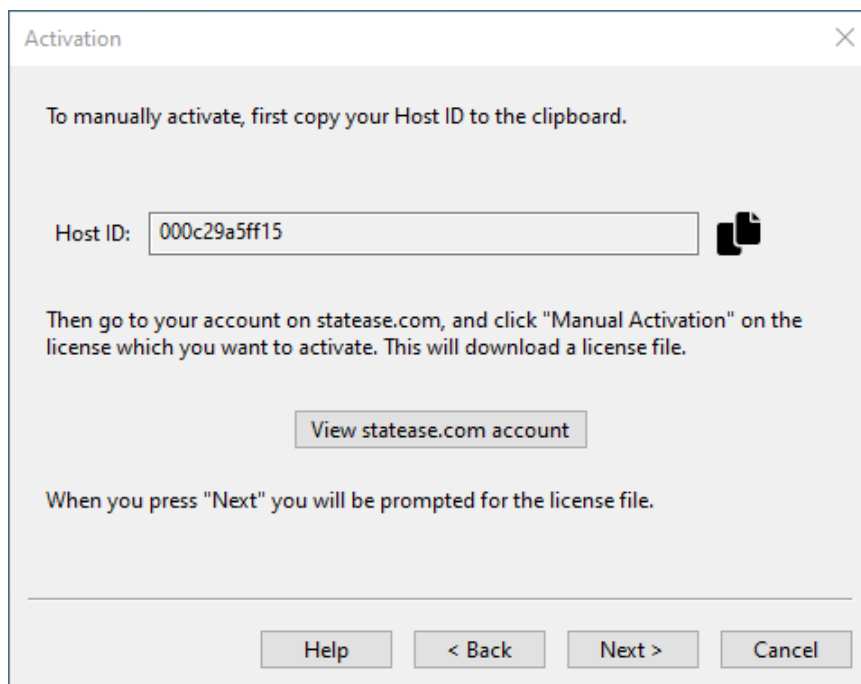
Proxy Credentials:

Help < Back Finish Cancel

詳しくは、[ネットワーク版のインストール手順](#)をご覧ください。

アクティベーションに関する問題

シングルユーザーライセンスのアクティベーションがうまくいかない場合は、“**Manual activation**” オプションを選択します。ボタンをクリックして、自分のアカウントにログインすると、ライセンスファイルが手動で生成されますので、生成されたライセンスファイルを保存してください。アクティベーションウィンドウに戻ったら、**Next** をクリックして、**Browse for License** ボタンをクリックして保存したライセンスファイルを指定します。**Finish** をクリックするとアクティベーションが完了します。もし、うまくアクティベートできない場合は、前の画面で表示された Host ID とシリアル番号を添えて、開発元または弊社サポートまでお知らせください。



ホスト型ライセンス (Stat-Ease 社のクラウドサーバーを使用するライセンス) で問題が生じる場合は、開発元または弊社サポートまでご連絡ください。

ローカルネットワークライセンスで問題が生じる場合は、ライセンス管理者か、開発元又は弊社サポートまでご連絡ください。

チュートリアルにアクセスするには

チュートリアルは、Help システムに含まれています。プログラムの Help メニューからたどることができます。また、同じ内容のチュートリアルは statease.com からアクセスすることもできます。

ネットワーク・クイックスタートガイド

概要

ネットワーク版の製品は以下の2つのコンポーネントで構成されます：

- サードパーティのサーバー (Reprise License Manager)：ライセンスの管理に使用します。
- クライアントとなるソフトウェア本体

ネットワーク版をインストールするには、2つのコンポーネント、すなわち、クライアント環境で動作する Stat-Ease version 23.0 のインストールと、クライアントからのリクエストに応じてライセンスを配布するライセンスサーバーをサーバーコンピュータにインストールする必要があります。

Windows プラットフォームでは Reprise License Manager の 32-bit および 64-bit、Linux プラットフォームでは 64-bit を Stat-Ease のシートの管理に利用できます。

重要なインストール、アクティベーション、トラブルシューティングの手順につきましては、下記のドキュメントを参照してください：

- [インストールに関する FAQ](#)
- [ネットワーク版のインストール手順](#)

Reprise License Manager の高度な機能については下記をご覧ください：

- [Reprise License Manager Support Page](#)

ライセンスマネージャーのインストールには所属のネットワークシステム管理者への問い合わせが必要になる場合がある点に注意してください。

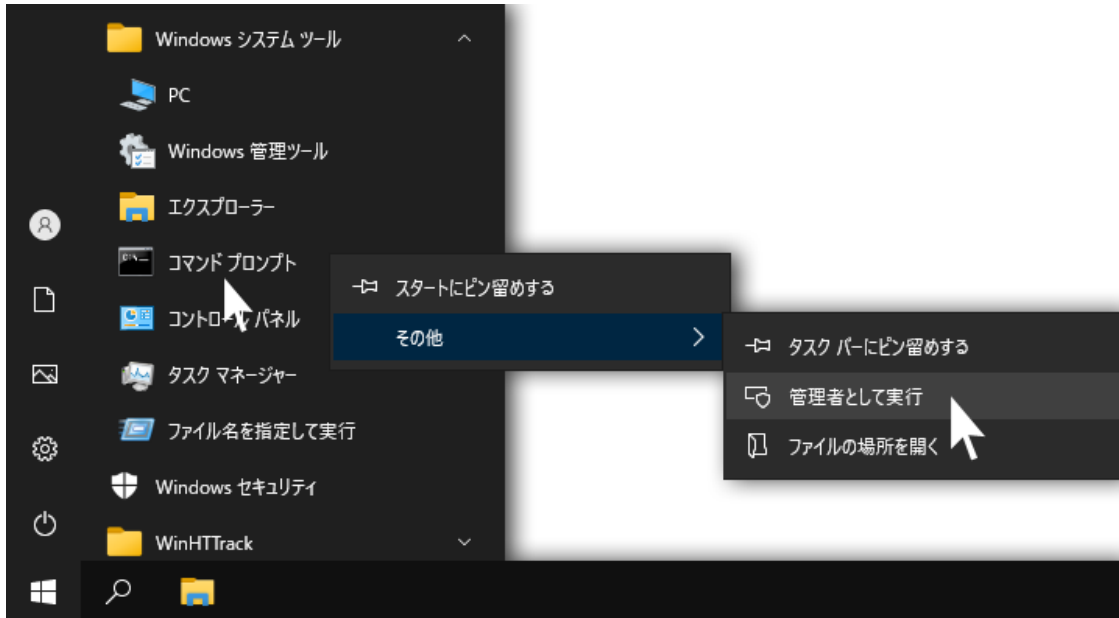
ここに記載したインストール手順で使用するコマンドは、全てのネットワーク環境で利用できる訳ではありません。必要に応じて同等のコマンドに置き換えてください。

Network Bundle をダウンロードして展開する

statease.com のアカウントにログインして、[Downloads & Updates page](#) からお使いのサーバー (32-bit 又は 64-bit) に、**Network Bundle** をダウンロードします。お使いのサーバーの特定の場所 (例：c:) にダウンロードしたファイルを展開します。

コマンドプロンプトを起動する

Windows スタートメニューの「Windows システムツール」にある「コマンドプロンプト」を右クリックして「管理者として実行」で起動します。



カレントディレクトリを **Network Bundle** を展開したフォルダのパスに変更します
(※**C:\statease-rlm-x86** は、お使いの環境で展開したパスに置き換えてください)。

```
C:\Windows\system32>cd C:\statease-rlm-x86  
C:\statease-rlm-x86>
```

仮想サーバーの Host ID を特定する

物理サーバーに RLM をインストールする場合は、このセクションをスキップしてください (ただし、お使いのサーバーの Host ID を特定しておけば、インターネット経由のアクティベーションに失敗する場合に役立ちます)。

お使いのサーバーが仮想サーバーの場合、ex_activate.exe を使って表示される Host ID アドレスと同じ静的 MAC アドレスを与える必要があります。

Host ID を特定するには、コマンドラインで dex_activate.exe /showhostid を実行します：

```
C:\statease-rlm-x86>dex_activate.exe /showhostid  
Host ID: 0000000000  
Press any key to continue:
```

表示された Host ID の値を記録し、お使いの仮想サーバーの MAC アドレスに設定します。

インターネット経由のアクティベーション

dex_activate.exe と入力して Enter キーを押します。16桁のネットワークライセンスのシリアル番号を入力したら、指示に従ってアクティベーションを完了します。

```
C:\statease-rlm-x86>dex_activate.exe
Enter serial-number: XXXX-XXXX-XXXX-XXXX
Activating license for XXXX-XXXX-XXXX-XXXX
Activation successful! License file C:\statease-rlm-x86\dex.lic
Press any key to continue:
```

これにより、購入されたシート数を内容とするライセンスファイルが取得されます。このファイルは、同じディレクトリ内の dex.lic として保存されます。

この手順で失敗する場合 (一般に、ファイアウォールの問題を示す -105 エラーが発生した場合) は、マニュアルによるアクティベーションの手順に進みます。

マニュアルによるアクティベーション

コマンドラインに dex_activate.exe /showhostid と入力して、表示される行全体を記録します。この内容がサーバーの Host ID になります。

```
C:\statease-rlm-x86>dex_activate.exe /showhostid
Host ID: 0000000000
Press any key to continue:
```

Host ID、サーバーのホスト名、お持ちのシリアル番号を開発元または弊社サポート宛にお送りください。ライセンスファイルとインストール方法をお知らせします。

Reprise License Manager のインストールとサービスの開始

次に、Reprise License Manger (RLM) 実行ファイルをサービスとしてインストールします。以下に示すコマンドは、RLM サービスをインストールし、同じディレクトリ内のログファイルにメッセージを追加するように指示するものです。

```
C:\statease-rlm-x86>rlm.exe -install_service -dlog
+C:\statease-rlm-x86\rlm.log
```

サービスを開始するには、サービスコントロールコマンド: sc start RLM を使用します。

```
C:\statease-rlm-x86>sc start RLM

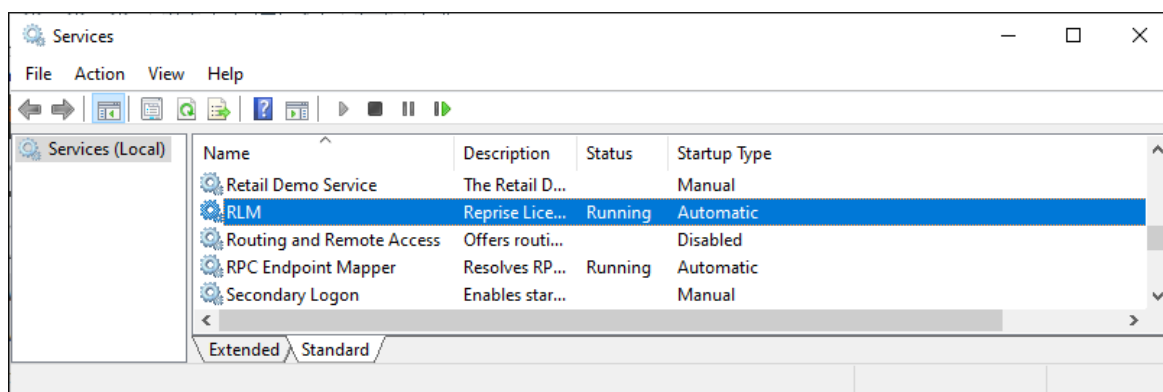
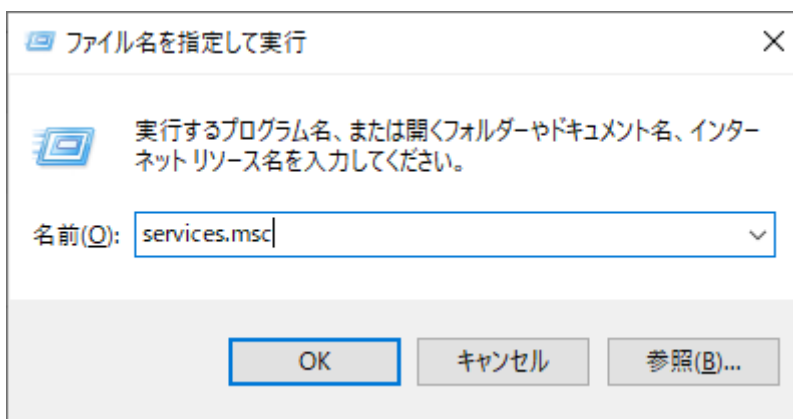
SERVICE_NAME: RLM
```



```

TYPE                : 10  WIN32_OWN_PROCESS
STATE               : 2   START_PENDING
                    (NOT_STOPPABLE, NOT_PAUSABLE,
IGNORES_SHUTDOWN)
WIN32_EXIT_CODE     : 0   (0x0)
SERVICE_EXIT_CODE : 0   (0x0)
CHECKPOINT          : 0x0
WAIT_HINT           : 0x7d0
PID                 : 3724
FLAGS               :
    
```

サービスの開始と動作確認は、services.msc ダイアログから行うこともできます：



Stat-Ease をクライアントマシンにインストールする

以上で、クライアントマシンに Stat-Ease をインストールする準備が整いました。

クライアントのインストーラは MSI パッケージです。インストーラは www.statease.com にログインして [here](#) から入手できます。お使いのクライアントマシンのプラットフォーム (32-bit または 64-bit) に該当するバージョンをダウンロードしてください。

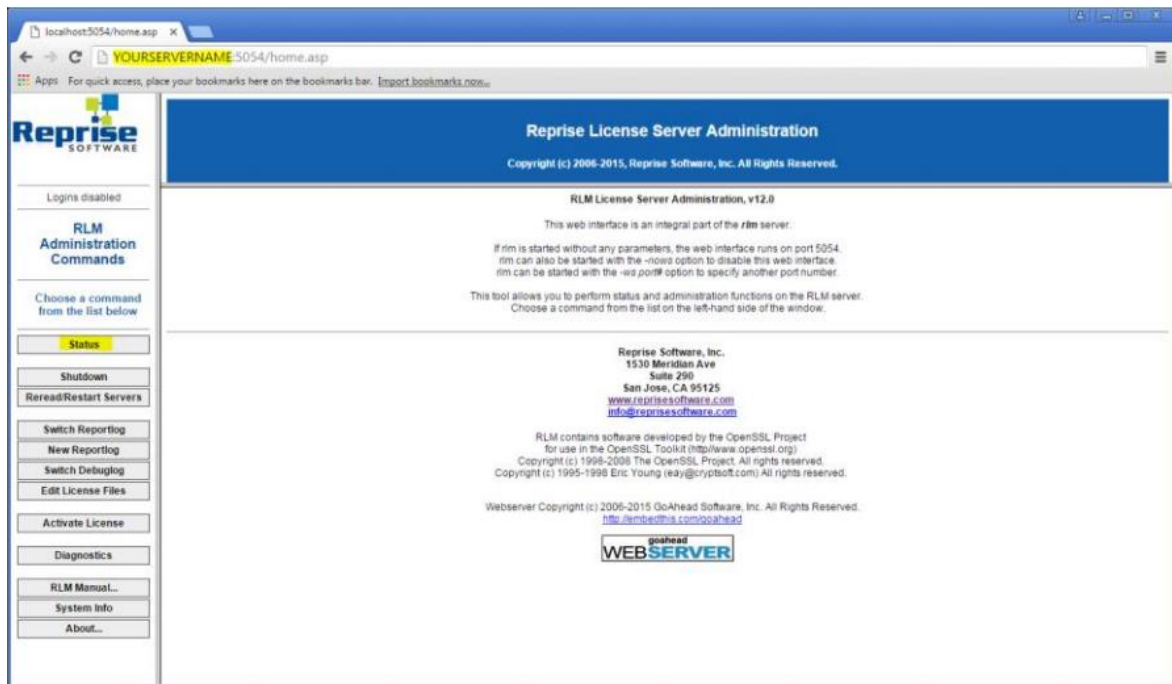
以下に示す重要な注意事項をお読みください。

重要な注意事項

- お使いのファイアーウォールで TCP ポート 5053 を開放し、サーバーとクライアントで利用できるようにしてください。
- RLM をウェブインターフェースで管理したり問題を解決するには、サーバーの TCP ポート 5054 を開放する必要があります。
- RLM では、起動のたびに ISV サービスに異なるポートを動的に割り当てますが、このポートを特定の値に設定することが可能です。この設定は常に必要という訳ではありませんが、このポートを特定の値に設定しておくことを推奨します。例えば、ISV のポートを 49155 に設定するには、dex.lic ファイルの中にある “ISV statease” 行を “ISV statease port=49155” に変更し、お使いのファイアーウォールで 49155 ポートを開放します。
- ライセンスマネージャーのインターフェースにアクセスするには、ウェブブラウザのアドレスバーに `SERVER:5054` と入力します。ここで、SERVER は RML が動作しているマシンの名称に置き換えてください。
- ネットワークインストールの場合は、Stat-Ease 23.0 License Options ダイアログにお持ちの 16 桁のシリアル番号を入力しないでください。アクティベーションは、ネットワーク製品用のサーバー上にある dex_activate.exe を使って実行されます。
- 仮想マシン上で実行している場合は、静的 MAC アドレスが設定されていることを確認してください。静的 MAC アドレスが設定されていないと、VM を再起動するたびに Host ID (MAC アドレス) が変化し、ライセンスが無効になります。

管理コンソール

RLM を起動すると、ポート 5054 で管理インターフェースも起動します。ここにアクセスするには、ブラウザを起動して、“`http://YOURSERVERNAME:5054`” と入力します。ここで、YOURSERVERNAME はお使いのサーバーの名称に置き換えてください。



サービスの停止と削除

サービスの停止を行うには、サービスコントロールコマンド `sc stop RLM` を使用します。

```
C:\statease-rlm-x86>sc stop RLM

SERVICE_NAME: RLM
        TYPE               : 10  WIN32_OWN_PROCESS
        STATE                : 1   STOPPED
        WIN32_EXIT_CODE       : 0   (0x0)
        SERVICE_EXIT_CODE   : 0   (0x0)
        CHECKPOINT           : 0x0
        WAIT_HINT            : 0x0
```

サービスの削除を行うには、サービスコントロールコマンド `sc delete RLM` を使用します。

```
C:\statease-rlm-x86>sc delete RLM
[SC] DeleteService SUCCESS
```

ネットワーク版のインストール手順

Stat-Ease 360 バージョン 23.0 のネットワーク版のインストール手順について説明します。

ネットワーク版の概要

ネットワーク版をインストールするには、2つのコンポーネント、すなわち、クライアント環境で動作する Stat-Ease version 23.0 のインストール ([クライアントのインストール](#)を参照) と、クライアントからのリクエストに応じてライセンスを配布するライセンスサーバーをサーバーコンピュータにインストールする必要があります。

使用許諾

ネットワーク版では、購入されたシート数に応じて同時に使用するユーザー数の上限をユーザー様ご自身で管理していただく必要があります。ネットワーク版ではこの目的のためにライセンスサーバーをインストールしていただくことになります。

ライセンスサーバーの動作環境

ハードウェアと OS に必要な条件は以下のとおりです：

| Component | Minimum |
|------------------|--|
| Hard Drive | 100 MB free space |
| Operating System | Windows Server 2008 or newer Linux x86 (64 or 32-bit) |

仮想サーバーにインストールする場合は、静的イーサネット MAC アドレスを割り当てる必要があります。

ライセンスサーバーのインストール手順

ネットワーク版のインストール手順は以下のとおりです：

1. Network Bundle に含まれるファイルをライセンスサーバーの特定のフォルダにコピーします。
2. dex_activate.exe を実行してお持ちのライセンスをアクティベートします。
3. RLM をサービスとしてインストールします。
4. クライアントマシンに Stat-Ease をインストールします。

Network Bundle

クライアントマシンから要求されたライセンスは、Reprise License Manager (RLM) というライセンスサーバーによって処理されます。お使いのネットワーク環境に RLM のいずれのバージョンも動作していない場合は、このライセンスサーバーをインストールする必要があります。RLM をインストールするには、[Downloads & Updates page](#) にログインして、最新の Network Bundle をダウンロードして、そのファイルを特定のフォルダに展開します。RLM のいずれかのバージョンがすでに実行されている場合は、RLM とは別のディレクトリにファイルを一旦ダウンロードします。RLM サービスを停止して、**statease.set** ファイルと **rlm.exe** ファイルを既存の RLM ディレクトリにコピーして最新のものに更新したら、RLM を再起動します。

※これは、RLM 10.0 より古いバージョンの RLM を動かしている場合のみ要求されます。

アクティベート

ライセンスサーバーのアクティベーションを行うには、**dex_activate.exe** というコマンドラインユーティリティを使います。RLM をインストールしたライセンスサーバーがインターネット接続環境にある場合は、このユーティリティを実行し、要求に応じてお持ちのライセンスのシリアル番号を入力するだけです。これにより、Stat-Ease のアクティベーションサーバーに接続し、dex.lic という名称のライセンスファイルが実行ファイルと同じディレクトリにダウンロードされることとなります。

アクティベーションに関する問題がある場合は、解決に役立つ情報を以下の [Troubleshooting](#) セクションにまとめてあります。

RLM をサービスとしてインストールする

RLM をサービスとしてインストールするには、コマンドプロンプトで、**rlm.exe** があるディレクトリに移動して以下のコマンドを実行します。

```
rlm.exe -dlog +C:\Path\to\log\server.log -install_service
```

このうち、\Path\to\log\ の部分は、デバッグ情報を書き込むログファイルを保存するディレクトリです。必要に応じて変更してください。サービスを開始するには、コマンドプロンプトに以下の内容を入力してリターンキーを押します。

```
sc start rlm
```

詳細については、下記の「[ネットワーク版のインストールに関する注記](#)」の **Operation** セクションをご覧ください。

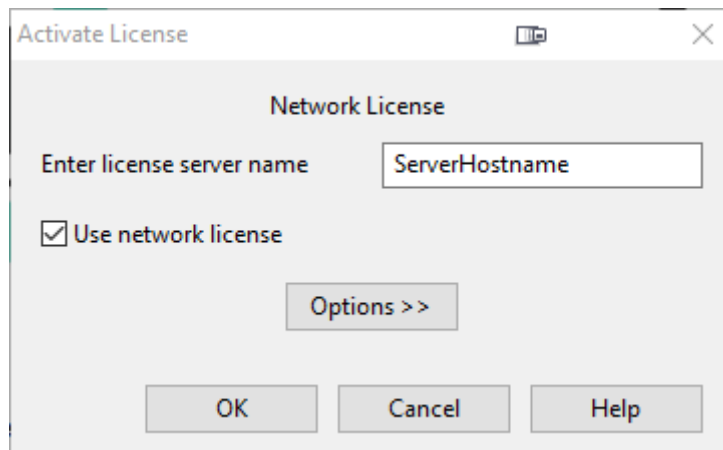
クライアントマシンに Stat-Ease をインストールする

Stat-Ease をインストールするには、[Downloads & Updates](#) ページにログインして、最新のインストーラを入手して、インストーラを実行してください。詳細は、下記の「[クライアントのインストール](#)」セクションをご覧ください。

ワークステーションのセットアップ

多くの場合、クライアント側で必要な作業は DX23.0 をインストールするだけです。プログラムは、起動時にライセンスサーバーを探して、ライセンスをリクエストします。クライアントマシンがライセンスサーバーに接続する際に問題がある場合は、HOST 行のみからなるライセンスファイルを用意する必要があります ([HOST 行のみからなるライセンス](#)参照)。

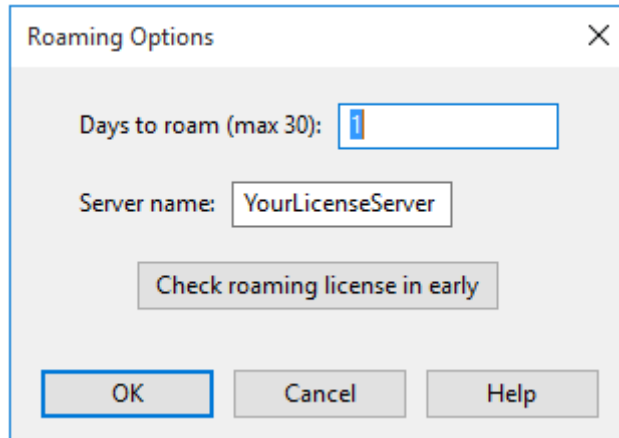
HOST 行のみからなるライセンスファイルは、**License Options** ダイアログ (Use network license オプションが表示されている場合) で Network License に切り替えて、入力フィールドにサーバー名を入力して OK をクリックします。もし、ライセンスサーバーがデフォルトの 5053 とは異なるポート番号を使用している場合は、`server_name:port_number` の形式でサーバー名に続いてポート番号を入力してください。



ライセンスのローミング

ライセンスサーバー側でローミングが許可されていれば、フローティングライセンスをネットワークから切り離して貸し出すことができます。ローミングオプションを使用してあるコンピュータのライセンスをライセンスサーバーからチェックアウトすると、ネットワークを切り離れた状態であってもプログラムを一定期間利用することができます。ライセンスをローミングすると、チェックアウト時に指定した日数の期間だけネットワークライセンスの 1 シート分が使用中になります。ライセンスの貸し出しが不要になった場合は、ローミング期間前でも返却できます。

クライアントマシンでライセンスをローミングするには、ネットワーク接続された状態でプログラムを通常の手順で起動して、**Help** メニューの **Roaming Options...** を選択します。サーバー側で許可されている最大ローミング日数の範囲内で (デフォルトは 30 日ですが、ライセンス管理者の設定によりそれより少なく設定されている場合があります)、ローミングしたい日数を入力します。これにより、ネットワークから切り離れた状態でも、指定した日数だけプログラムを利用できるようになります。



例えば、ローミング日数に 1 を入力すると、ローミングライセンスは翌日の午前零時まで有効になります。コンピュータをネットワークに接続した状態で、同じダイアログの **Check roaming license in early** をクリックすると、ローミング期間満了前にライセンスを返却することができます。

詳細については、[RLM License Administration Manual](#) をご覧ください。

HOST 行のみからなるライセンス

サーバーのポート番号をにデフォルトの 5053 とは異なる値に指定している場合、クライアントマシンにも、そのポートを指定する HOST 行のみからなるライセンスファイルが必要になります。HOST 行のみのライセンスが無いと、ローミングライセンスを期間満了前に返却できないことがあります。このファイルの内容は以下の形式で記述します：

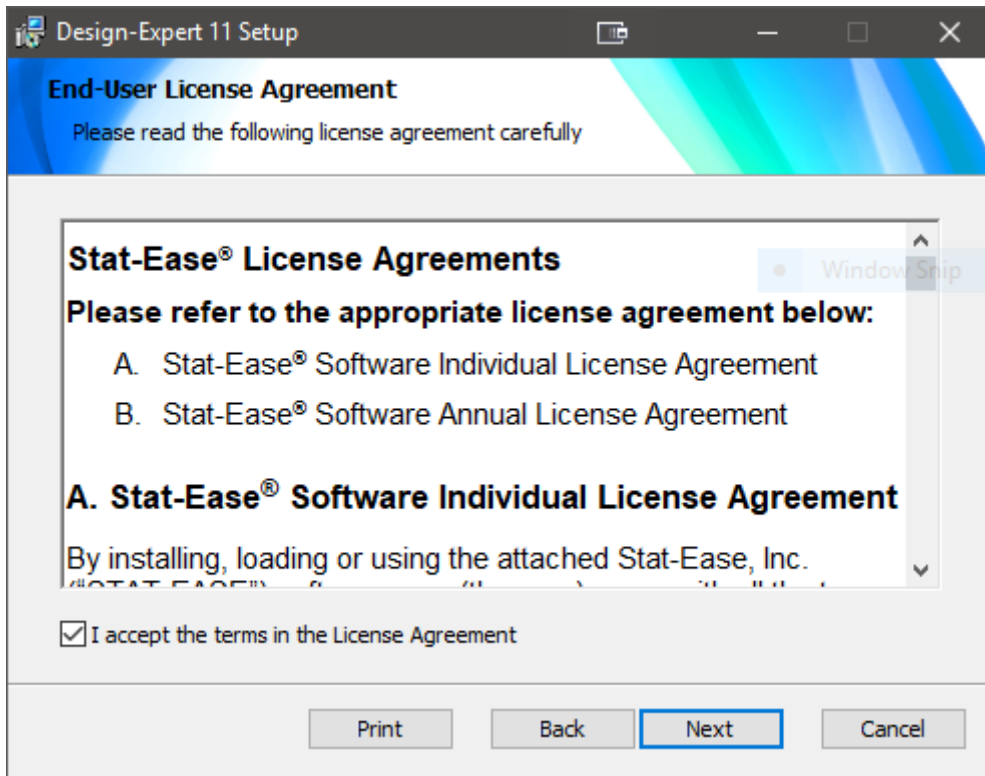
```
HOST <サーバー名> ANY <ポート番号>
```

このファイルの名称を host.lic とし、クライアントの共通アプリケーションフォルダ (通常は C:\ProgramData\Stat-Ease\Stat-Ease 23.0) に保存します。

このファイルは、Stat-Ease を起動することでクライアントマシンに生成されます。詳細は、「[ワークステーションのセットアップ](#)」セクションをご覧ください。

クライアントのインストール

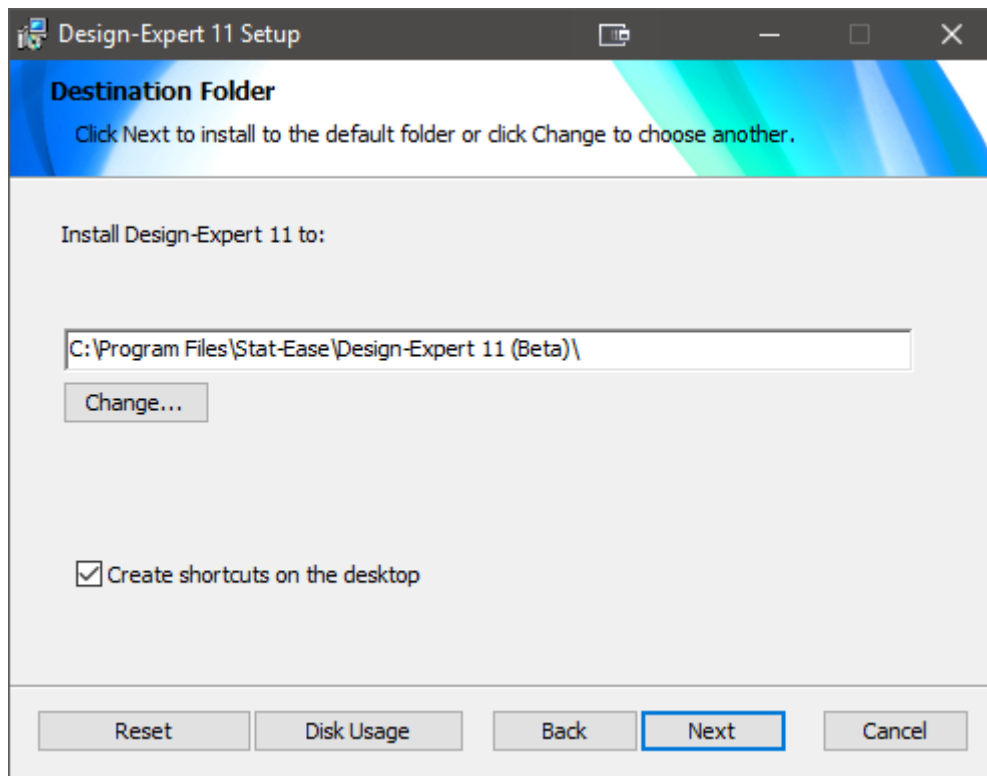
使用許諾



インストーラを起動すると、インストールプログラムが読み込まれ、上記の License Agreement (使用許諾) が表示されます。使用許諾内容をお読みください。内容に同意する場合は、“**I Accept...**” をチェックしたあと **Nex** をクリックしてインストールを進めます。内容に同意しない場合は、**Cancel** を選択してインストールを中止します。

クライアントのインストール手順

使用許諾に同意すると、**Custom Setup** ダイアログボックスが表示されます。ここで、インストールをカスタマイズし、インストール先のフォルダを変更できます。



アクティベーションが完了したプログラムを最初に起動する際は、ソフトウェアのオンライン登録の画面が表示されますので、登録をご確認ください。

プログラムをアンインストールするには

Stat-Ease をアンインストールするには、お使いの Windows のコントロールパネルにある「プログラムと機能」を使います。表示されるリストから Stat-Ease 23.0 を選択して、「アンインストール」の手順に従ってください。

プログラムを起動する

デスクトップにアイコンを配置しないよう選択している場合は、スタートメニューのプログラムにある Stat-Ease グループを開きます。このグループには Stat-Ease プログラムに加え、Read Me ファイルや、Manual/Tutorial グループ (上記で説明したオプション) といった幾つかのアイコンが用意されています。

構成ファイル

Stat-Ease (version 23.0) ソフトウェアのプログラムフォルダにインストールされるファイルは以下のとおりです：

- DX23.exe (メインプログラム)
- ReadMe_DX.html (プログラムのアップデート情報と役立つ情報)

- License.rtf (使用許諾)
- libiomp5md.dll (Intel Math Kernel Library)
- %help (ヘルプファイルのフォルダ)
- roaming.lic (ローミングに使用するライセンス)

アクティベーションが完了すると C:%ProgramData%Stat-Ease%Stat-Ease 23.0% に以下のファイルが保存されます：

- dex.lic (プログラムのライセンスファイル)

ネットワーク版のインストールに関する注記

ネットワークライセンスでは、プログラムを同時使用できるユーザー数を保有するシート数を上限とするよう管理する必要がありますが、デフォルトでは、この管理にビルトインのツールを使うよう設定されています。もし、独自のライセンス管理システムを使用する場合は、開発元または弊社サポートまでご連絡ください。

操作

ライセンスサーバーを起動するには、dex.lic ライセンスファイル (上記「アクティベーション」セクションを参照) を rlm.exe と同じディレクトリに配置し、コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行します。

```
rlm.exe > OUTPUT_FILE
```

ここで OUTPUT_FILE にはログファイルの名称を指定してください。このコマンドは検証用として有効です。実際にライセンスサーバーをサービスとして起動するには以下のコマンドを実行します。

```
rlm.exe -dlog LOGFILE -install_service -service_name SNAME -ws PORT
```

ここで LOGFILE は必須のログファイル名、SNAME はオプションのログファイル名とサービス名 (service_name フラグを省略した場合は RLM)、PORT はウェブインターフェースを実行するポート (-ws フラグを省略するとデフォルトの 5054) になります。その後、以下のコマンドを使って、サービスを開始する必要があります：

```
sc start rlm
```

なお、上記のコマンドを実行するには、ホストマシンの管理者権限が必要になる点に注意してください。

詳細は、[RLM License Administration Manual](#) の「Running the RLM server as a service on Windows」をご覧ください。

ログファイルの書き込みに加えて、rlm.exe を起動するとウェブサーバーのポート 5054 で自動的に起動する RLM を使って、ライセンスサーバーを監視することができます。これにアクセスするには、お使いのブラウザに `http://ServerHostName:5054` を指定するだけです。この WEB インターフェースを使って、各種オプションを設定したり、各種メンテナンスのタスクを実行することができます。詳細は、[RLM License Administration Manual](#) をご覧ください。

仮想サーバー

イーサネット MAC アドレスが動的に割り当てられていなければ仮想マシン環境でライセンスサーバーを実行することができます。RLM には静的 Host ID が必要です。仮想マシンでは通常そのイーサネット MAC アドレスを固定します。

ライセンスファイル

ライセンスファイル名の末尾は .lic (デフォルトのファイル名は dex.lic) です。これをライセンスサーバーのバイナリディレクトリに配置します。もし、別の場所を使いたい場合は、RLM_LICENSE 環境変数にその場所を指定する必要があります。詳細は [RLM License Administration Manual](#) をご覧ください。

なお、クライアントは、このライセンスファイルにアクセスする必要はありません。アクセスが必要なのはライセンスサーバーのみです。クライアントは、ホスト行のみからなるライセンスファイルを使用することで、ライセンスサーバーへのアクセスができるようになります。ライセンスサーバーがデフォルトのポート番号を使用している場合、ホスト行のみからなるライセンスファイルの内容は以下の形式になります：

```
HOST server_name
```

もし、ポート番号がデフォルトとは異なる値である場合、以下の形式になります：

```
HOST servername ANY port_number
```

ホスト行のみからなるライセンスファイルの名称は host.lic とし、クライアントの共通アプリケーションフォルダ (通常は C:\ProgramData\Stat-Ease\Stat-Ease 23.0\) に保存します。

トラブルシューティング

もし、このガイドのとおりにおこなってもライセンスサーバーに関する問題が解決できない場合は、開発元または弊社サポートまでご連絡ください。

アクティベーションエラー

Cannot connect to activation server

このエラーは、プロキシサーバーがあるか、または、単純にインターネット接続に問題がある場合に表示されます。

Proxy server

プロキシサーバーを使用している場合は、dex-activate.exe を実行する前に以下の2つの環境変数を設定する必要があります。

- *HTTP_PROXY* : ホスト名を指定します。プロキシが使用するポート番号がデフォルトの 8080 以外の場合は、host_name:port_number の形式で指定します。
- *HTTP_PROXY_CREDENTIALS* : ユーザー名とパスワードを user_name:password の形式で指定します。サポートされるのは BASIC 認証タイプのみである点に注意してください。

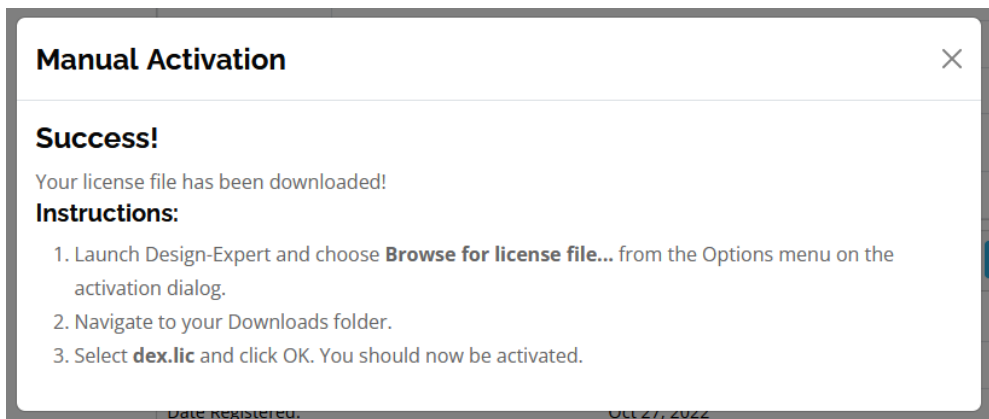
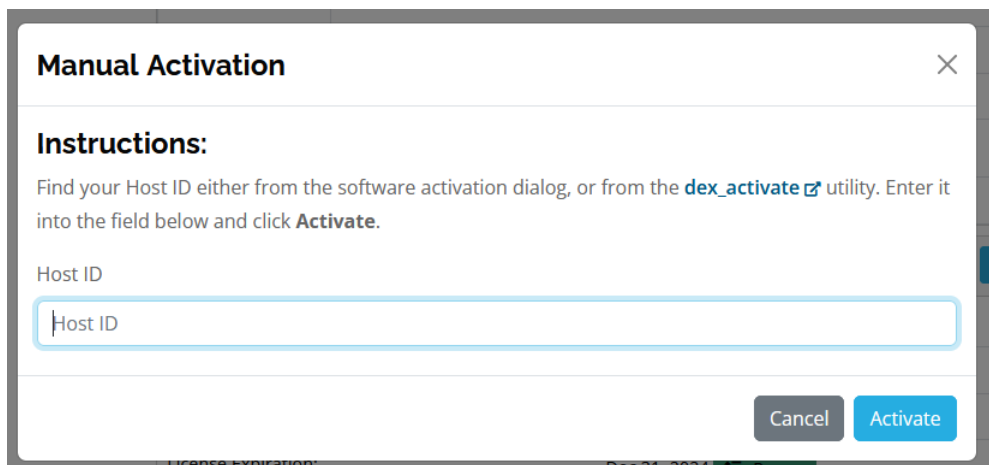
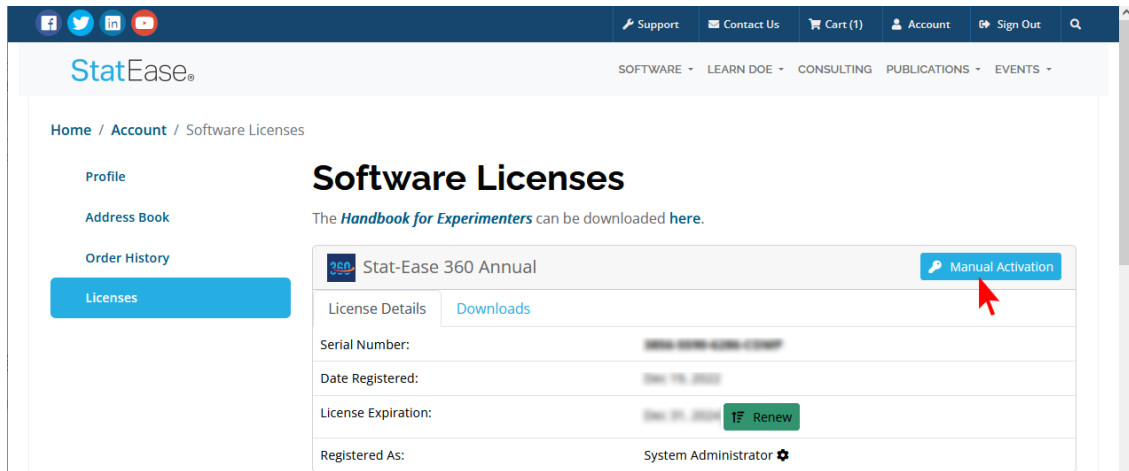
No internet connection

ライセンスサーバーがインターネット接続環境にない場合は、dex_activate ユーティリティに引数 /showhostid を付けて実行するか、utilities フォルダにある rlmhostid.exe を実行します。これを実行すると Host ID が表示されますのでその値をコピーします。dex_activate ユーティリティをインターネット接続環境にあるコンピュータにコピーします。dex_activate ユーティリティに引数 /hostid=HOSTID を付けて実行します。ここで、HOSTID は先ほど表示されたライセンスサーバーマシンの Host ID の値です。プロンプトが表示されたらシリアル番号を入力します。生成された dex.lic ファイルをライセンスサーバーの実行ファイルのあるディレクトリにコピーします。

または、シリアル番号、サーバー名、Host ID 情報を開発元または弊社のサポートまでお知らせください。お送りいただいた情報に基づいてライセンスファイルを発行します。発行されたライセンスファイルを dex.lic ファイルをライセンスサーバーの実行ファイルのあるディレクトリにコピーします。

Unable to create/write license file

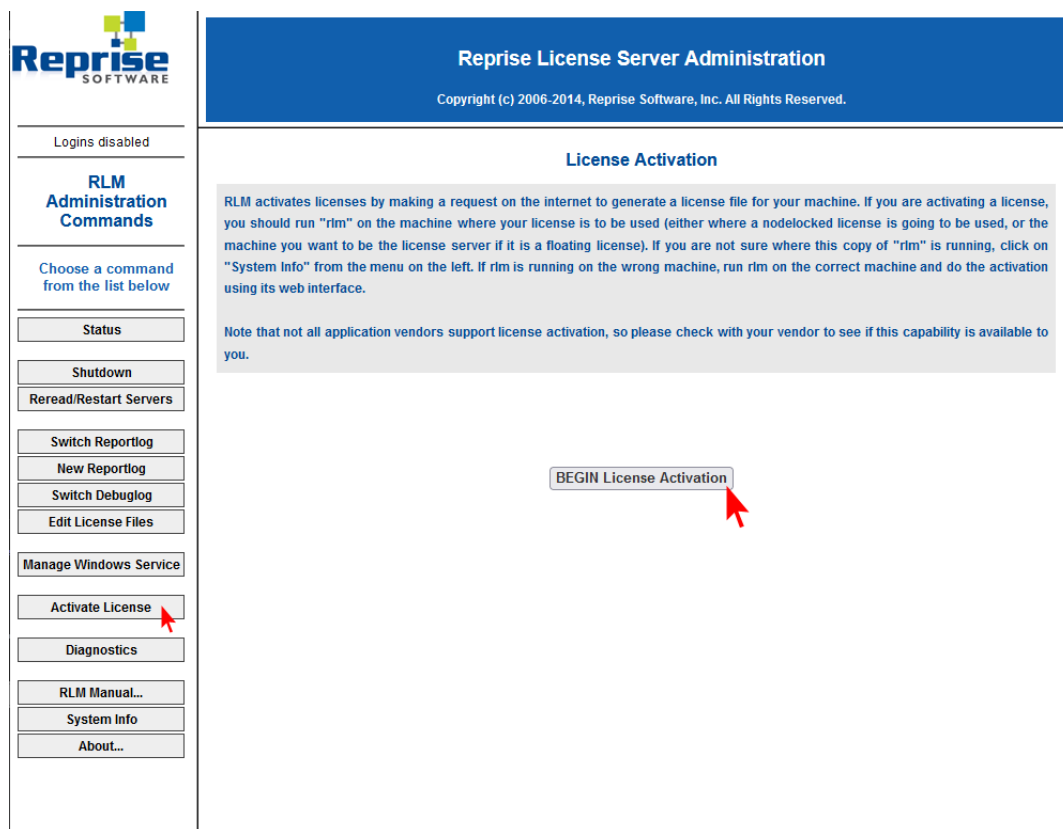
アクティベーション実行時にライセンスファイルを正常に保存できなかった場合、Stat-Ease の Web サイトにログインすることでライセンスファイルを取得できる場合があります。**My Account** の **Software Licenses** に進んで、**Manual Activation** ボタンをクリックします。ライセンスサーバーの Host ID を入力します (詳細は上記 *No internet connection* 参照)。直前に発行されたライセンスファイルの内容が表示されます。表示されたテキストをコピーしてテキストエディタにペーストします。ペーストした内容を dex.lic という名称で保存して、保存したファイルをライセンスサーバーの実行ファイルのあるディレクトリにコピーしてください。



Alternative activation method

RLM の組み込みウェブインターフェースを通じてライセンスをアクティベートすることもできます。この方法のデメリットは、ライセンスファイルにシリアル番号が記載されないことです。従って、ユーザーには報告されない点です。この方法の手順は以下のとおりです：

1. まず、rlm.exe を実行して、ブラウザでサーバーにポート 5054 でアクセスします (例 : サーバーのホスト名が LicServer の場合は、ブラウザのアドレス欄に LicServer:5054 と入力します)。これによって RLM のウェブインターフェースがブラウザに表示されます。
2. **Activate License** ボタンをクリックして、**Begin License Activation** をクリックします。



3. *ISV activation website* に **activate.statease.com** と入力します。

Reprise License Server Administration
Copyright (c) 2006-2014, Reprise Software, Inc. All Rights Reserved.

Logins disabled

RLM Administration Commands

Choose a command from the list below

- Status
- Shutdown
- Reread/Restart Servers
- Switch Reportlog
- New Reportlog
- Switch Debuglog
- Edit License Files
- Manage Windows Service
- Activate License
- Diagnostics
- RLM Manual...
- System Info
- About...

License Activation (step 1 of 5) - select activation server

RLM licenses can be activated from a number of different websites. First, enter the website below, then press "Next".

ISV activation website:

4. ISVに **statease** (全て小文字) と入力します。License activation key にシリアル番号をハイフン付きで入力します。

Reprise License Server Administration
Copyright (c) 2006-2014, Reprise Software, Inc. All Rights Reserved.

Logins disabled

RLM Administration Commands

Choose a command from the list below

- Status
- Shutdown
- Reread/Restart Servers
- Switch Reportlog
- New Reportlog
- Switch Debuglog
- Edit License Files
- Manage Windows Service
- Activate License
- Diagnostics
- RLM Manual...
- System Info
- About...

License Activation (step 2 of 5) - specify license activation key

RLM licenses are activated based on an activation key which you received from your software vendor. This activation key will specify the product to be activated. Enter your ISV name and activation key below, then press "Next".

ISV:
License activation key:

5. *License Server or Node-lock hostid*: 欄はそのまま、ネットワークライセンスのシート数を入力します。

Reprise License Server Administration
Copyright (c) 2006-2014, Reprise Software, Inc. All Rights Reserved.

License Activation (step 3 of 5) - specify machine for nodelocked license or license server and license count

RLM licenses are locked to a particular computer which is identified by a hostid. This is true for nodelocked licenses (the license itself is locked) and floating licenses (the license server is locked). The hostid of this machine is filled in below - if you want to lock this license (or license server) to this computer, leave the hostid field as-is, otherwise, enter the hostid of the machine you would like to lock the license (server) to. Floating licenses require a count. When you have selected the desired hostid and license count, press "Next".

License Server or Node-lock hostid: 901b0ec45d43
License count (for floating licenses): 1

Next->
<-Back

6. ライセンスファイルパスのファイル名の部分を **dex.lic** に変更します。

Reprise License Server Administration
Copyright (c) 2006-2014, Reprise Software, Inc. All Rights Reserved.

License Activation (step 4 of 5) - specify license file location

RLM licenses are stored in a *license file* which needs to be accessed by either the license server (for floating licenses) or the application. By default, we place the license file in the directory where you started this rlm process. When you execute the restart/reread command on the left, the new license file will be read by rlm. However, you can specify a different location for the license file if you wish. When you have selected the desired license file location, press "Next".

License File to create or edit: ↑

7. Activation Request Data テーブルの内容に間違いが無いが確認したら、**REQUEST LICENSE** をクリックします。

Reprise License Server Administration
Copyright (c) 2006-2014, Reprise Software, Inc. All Rights Reserved.

License Activation (step 5 of 5) - verify parameters and request license

You have now entered all the data required for activation. Please verify this is the license you want to generate, and if so, press the "REQUEST LICENSE" button below. This will request the license from the internet, and place it in the file specified below. Note that this operation may take up to 15 seconds.

Activation Request Data:

| | |
|-------------------|-----------------------|
| Activation Server | activate.statease.com |
| ISV | statease |
| Activation Key | ***** |
| Count | 1 |
| Hostid | 901b0ec45d43 |
| License File | .\dex.lic |

↑

操作上の問題

Product not supported error with license server

クライアントでこのエラーが表示されたら、以下の項目が正しいかを確認してください：

1. dex.lic ファイルと statease.set ファイルがライセンスサーバーのフォルダにあるか。
2. ライセンスの期限が切れていないか。
3. ライセンスに含まれる製品とクライアントのプログラムが一致しているか：designexpert であれば Design-Expert、se360 であれば Stat-Ease 360。
4. ライセンスのバージョン番号がクライアントで実行されているバージョンより新しいものか。
5. ライセンスの Host ID がサーバーの Host ID と一致しているか。

ライセンスの Host ID は、サーバー名のすぐ後に続く HOST 行でご確認いただけます。サーバーの Host ID を確認するには、コマンドプロンプトで `dex_activate.exe /showhostid` を実行するか、utilities フォルダにある `rlmhostid.exe` を実行します。

Communications error with license server

クライアントでこのエラーが表示されたら、以下の手順に従ってください：

1. サーバマシンで RLM が動作しているかをチェックします。もしサービスとしてインストールされている場合は、そのサービスが「サービス」（例：コントロールパネルの管理ツール）で開始しているかをチェックします。
2. クライアントマシンから RLM に接続できるかを検証します。クライアントのブラウザでウェブインターフェース (`ServerHostName:5054`) にアクセスできるかご確認ください。
3. ポート 5053 が開放されており、サーバーとクライアントマシンの両方で利用できるかチェックします。もし 5053 を利用できない場合は、サーバーの dex.lic ファイルとクライアントの host.lic ファイルのポート番号を利用可能なポートに編集します。

テクニカルサポート

サポートに連絡する前に、下記をご覧ください：

- 本ドキュメント。特に「プログラムのヒントと FAQ」セクション。
- プログラムのアップデート情報と最新のドキュメントは、[Stat-Ease website](#) にアクセスしてください。

プログラムのサポートを受けるには、登録されたソフトウェア所有者であるか、ライセンスを取得したネットワーク上のユーザーである必要があります。事前に Stat-Ease のバージョン番号とシリアル番号をご用意ください。

インストールに関する FAQ

ネットワークライセンスのインストールに関する FAQ

ネットワーク版をインストールするにはどうしたら良いですか？

ネットワーク版をインストールするには、2つのコンポーネント、すなわち、クライアント環境で動作する Stat-Ease version のインストールと、クライアントからのリクエストに応じてライセンスを配布するライセンスサーバーをサーバーコンピュータにインストールする必要があります。

ライセンスサーバーを実行するのはなぜですか？

ネットワークライセンスの新しい管理システムには旧式 (バージョン 8 以前) のファイルサーバー管理システムと比較して幾つかのメリットがあります。

- ローミング機能を使えば、ユーザーは、ライセンスをチェックアウトして、プログラムをネットワークから切り離して実行することができます。
- クライアントの一人がプログラムのインスタンスを複数実行しても、カウントされるのは1シート分になります。
- クライアントによる使用状況のモニタリングの強化：現在どのユーザーがライセンス使用しているかを特定し、レポートを生成できます。
- 新しいシステムにより、ライセンス管理者はライセンスポリシーをより柔軟に制御できるようになります。
- セキュリティの強化：サーバー上のフォルダへの書き込み権限はクライアントは不要になりました。

ライセンスサーバーをインストールするにはどうしたら良いですか？

ライセンスサーバーをインストールするには：

- network bundle に含まれるファイルをライセンスサーバーの特定のフォルダにコピーします。
- dex_activate.exe を実行してライセンスをアクティベートします。
- RLM をサービスとしてインストールして、RLM サービスを起動します。
- クライアントマシンに Stat-Ease をインストールします。

RLM をサービスとしてインストールするにはどうしたら良いですか？

RLM をサービスとしてインストールするには、コマンドプロンプトで rlm.exe のあるディレクトリに移動して、rlm.exe を実行します。

```
rlm.exe -dlog LOGFILE -install_service
```

このうち、LOGFILE の部分は、デバッグ情報を書き込むログファイルを保存するディレクトリです。必要に応じて変更してください。サービスを開始するには、コマンドプロンプトに以下の内容を入力してリターンキーを押します。

```
sc start rlm
```

Stat-Ease をクライアントマシンにインストールするにはどうしたら良いですか？

クライアントマシンで、該当する Windows インストーラファイル (MSI) プログラムを実行します。

クライアントのインストールを自動化するにはどうしたら良いですか？

Windows Installer command line tool ([msiexec](#)) を使用すれば、Stat-Ease をコマンドラインからサイレントモードでインストールできます。

ネットワークライセンスのアクティベーションに関する FAQ

dex_activate プログラムでライセンスファイルの書き出しができません。ライセンスを入手するにはどうしたら良いですか？

アクティベーション実行時にライセンスファイルを正常に保存できなかった場合、Stat-Ease の Web サイトにログインすることでライセンスファイルを取得できる場合があります。

1. [Software Licenses](#) にログインして、**Manual Activation** ボタンをクリックします。
2. [ライセンスサーバー](#) の Host ID を入力します (Host ID は、dex_activate.exe /showhostid または utilities フォルダにある rlmhostid.exe を実行して確認できます)
3. 直前に発行されたライセンスファイルの内容が表示されます。表示されたテキストをコピーしてテキストエディタにペーストします。
4. ペーストした内容を dex.lic という名称で保存して、保存したファイルをライセンスサーバーの実行ファイルのあるディレクトリにコピーしてください。

プロキシサーバーを使ってインターネット経由のアクティベーションを行うにはどうしたら良いですか？

別のアクティベーション方法 (次の質問を参照) を使用するか、dex_activate を実行する前に 2 つの環境変数、**HTTP_PROXY** と **HTTP_PROXY_CREDENTIALS**、を設定します。

- **HTTP_PROXY** : hostname:port の形式で設定します (例 : LicServer:8080)。
- **HTTP_PROXY_CREDENTIALS** : username:password の形式で設定します (例 : joe:joes_password)。

なお、RLM のアクティベーションでサポートされるのは BASIC 認証タイプのみである点に注意してください。

ネットワークライセンスのアクティベーションには dex_activate.exe が必要ですか？

いいえ。RLM のウェブインターフェースには別のアクティベーション方法が用意されています。

1. まず、rlm.exe を実行して、ブラウザでサーバーにポート 5054 でアクセスします (例：サーバーのホスト名が LicServer の場合は、ブラウザのアドレス欄に LicServer:5054 と入力します)。これによって RLM のウェブインターフェースがブラウザに表示されます。
2. **Activate License** ボタンをクリックして、**Begin License Activation** をクリックします。
3. *ISV activation website* に **activate.statease.com** と入力します。
4. *ISV* に **statease** (全て小文字) と入力します。
5. *License activation key* にシリアル番号をハイフン付きで入力します。
6. *License Server or Node-lock hostid:* 欄はそのまま、ネットワークライセンスのシート数を入力します。
7. ライセンスファイルパスのファイル名の部分を **dex.lic** に変更します。
8. Activation Request Data テーブルの内容に間違いが無いか確認したら、**REQUEST LICENSE** をクリックします。
9. 新しいライセンスファイルをライセンスサーバーの実行ディレクトリにコピーします。

インターネット接続環境に無い場合、アクティベーションを行うにはどうしたら良いですか？

ライセンスサーバーがインターネット接続環境にない場合は、以下の手順でアクティベーションをおこなうことができます。

1. ライセンスサーバーの Host ID を取得する
 - ライセンスサーバーのコマンドプロンプトで `dex_activate /showhostid` を実行します。または、utilities フォルダにある `rlm_hostid` を実行します。
 - 次に、**dex_activate.exe** をインターネット接続可能なマシンにコピーして、コマンドプロンプトで以下を実行します。

```
dex_activate /hostid=LicenseServerHostID
```

- ここで、**LicenseServerHostID** は、最初のステップで取得したライセンスサーバーの Host ID の値です。
2. 取得した dex.lic ファイルをライセンスサーバーの rlm.exe があるフォルダにコピーして、ライセンスサーバーを再起動します。

インターネット経由のアクティベーションがうまくいかない場合は、シリアル番号、ライセンスサーバーの Host ID および、ライセンスサーバーのサーバー名をそえて、サポートまでご連絡ください。お

送りいただいた情報に基づいて dex.lic を発行します。発行された dex.lic をライセンスサーバーのフォルダにコピーしてください。

最後に、ライセンスサーバーを再起動します。

ネットワークライセンスの操作に関する FAQ

使用状況をモニターするにはどうしたら良いですか？

使用状況は、ブラウザで `http://LicenseServerName:5054` にアクセスし、ライセンスサーバーのウェブインターフェースを開くことでリアルタイムにモニターすることができます。**Status** ボタンをクリックして、Server Status にある **statease** ボタンをクリックします。Show License Usage にある **usage** ボタンをクリックすると、現在の使用状況のリストが表示されます。

ISV options ファイルに `REPORTLOG` 行を追加することでレポートを作成することができます。このオプションファイルを作成するには、メモ帳等のテキストエディターを開いて以下の行を追加します。

```
REPORTLOG report.log
```

ここで、**report.log** は、レポート用のログファイルに付ける名称に置き換えてください。このテキストファイルを `statease.opt` という名称で `dex.lif` ファイルと同じディレクトリに保存します。ウェブインターフェースの **Reread/Restart Servers** ボタンを使ってライセンスサーバーを再起動します。

仮想サーバーでライセンスサーバーを実行できますか？

できます。仮想マシンに静的イーサネット MAC アドレスを割り当てることで仮想サーバー上で実行することができます。

Network Bundle の旧式のバージョンを実行している場合、`rlm.exe` で **“This server does not run on virtual machines”** とレポートされることがあります。この場合は、最新バージョンの Network Bundle をダウンロードしてインストールを行ってください。

仮想サーバーでライセンスサーバーを実行できたのに、クライアントがライセンスサーバーを見つけられない場合は、クライアント側に `HOST` 行のみからなるライセンスファイルを用意する必要があります。クライアント側で `host.lic` ファイルのサーバー名を認識できない場合は、サーバー名に仮想サーバーの IP アドレスを使用してください。

トラブルシューティング

自分のライセンスファイルはどこにありますか？

ネットワーク版の場合、ライセンスサーバー (rlm.exe) と同じディレクトリにライセンスファイルを配置します。

クライアントでは、シングルユーザーライセンスと HOST 行のみからなるライセンスファイルを %ProgramData%\Stat-Ease\`|dex-name| |version|` に配置します。%ProgramData% は、共通のアプリケーションデータフォルダのショートカットで、Windows のバージョンによって実際のパスは異なります。このフォルダは隠しフォルダに設定されていますので、以下のように入力します：

```
cd %ProgramData%
```

または、アドレスバーに直接 %ProgramData% と入力します。

製品がサポートされていないというエラーメッセージが出るのはなぜですか？

このエラーは、クライアントがライセンスサーバーを見つけることはできたけれども、そこには有効なライセンスが無かったことを示しています。以下の点をチェックしてください：

1. ライセンスサーバーのフォルダに dex.lic file と statease.set があるかどうか。
2. ライセンスの期限が切れていないかどうか。
3. ライセンスに含まれる製品とクライアントのプログラムが一致しているか：*designexpert* であれば Design-Expert、*se360* であれば Stat-Ease 360。
4. ライセンスのバージョン番号がクライアントで実行されているバージョンより新しいものか。
5. ライセンスの Host ID がサーバーの Host ID と一致しているか。

これらのチェックを行うには、ウェブインターフェイスを起動し（「使用状況をモニタするにはどうすればよいですか？」を参照）、左側の Status ボタンをクリックします。これにより、statease を実行している ISV サーバーがリストされます。statease ISV サーバーが存在しない場合、RLM には statease.set ファイルが表示されません。テーブルに statease の行がある場合は、サーバー ステータスの下にある statease ボタンをクリックします。これにより、License pool status テーブルが表示され、利用可能なすべてのライセンスのリストが表示されます。ライセンスが表示されない場合は、dex.lic ファイルを直接調べてください。製品名、バージョン番号、有効期限は、LICENSE ステートメントで始まる行にリストされています。例えば：

```
LICENSE statease designexpert |version| 21-jan-2015 3 share=uh
```

ライセンスの Host ID は、サーバー名のすぐ後に続く HOST 行でご確認いただけます。サーバーの Host ID を確認するには、コマンドプロンプトで `dex_activate.exe /showhostid` を実行するか、utilities フォルダにある `rlmhostid.exe` を実行します。Host ID が一致せず、ライセンスサーバーを仮想マシンで実行している場合は、仮想マシンに静的イーサネット MAC アドレスが割り当てられているかご確認ください。ライセンスサーバーの Host ID と一致するサーバーの Host ID を取得できない場合は、開発元または弊社サポートに連絡して、正しい Host ID に基づくライセンスを取得してください。

クライアントで connection refused (接続が拒否されました) というサーバーエラーが生じる原因は何ですか？

このエラーは、通常、ライセンスサーバーが実行されていない場所を host.lic ライセンスファイルで指定しているか、クライアントマシンから接続できない場所が指定されている場合に表示されます。この問題が生じる原因を以下に示します：

1. RLM がサーバーマシンで実行しているかをチェックします。もしサービスとしてインストールされている場合は、そのサービスが「サービス」(例：コントロールパネルの管理ツール) で開始しているかをチェックします。
2. クライアントマシンから RLM に接続できるかを検証します。クライアントのブラウザでウェブインターフェース (ServerHostName:5054) にアクセスできるかご確認ください。
3. ポート 5053 が開放されており、サーバーとクライアントマシンの両方で利用できるかチェックします。もし 5053 を利用できない場合は、サーバーの dex.lic ファイルとクライアントの host.lic ファイルのポート番号を利用可能なポートに編集します。
4. RLM では、起動のたびに ISV サービスに異なるポートを動的に割り当てますが、このポートを特定の値に設定することが可能です。この設定は常に必要という訳ではありませんが、このポートを特定の値に設定しておくことを推奨します。例えば、ISV のポートを 49155 に設定するには、dex.lic ファイルの中にある “ISV statease” 行を “ISV statease port=49155” に変更し、お使いのファイヤーウォールで 49155 ポートを開放します。

クライアントで生じるエラー「bad server hostname in license file or port@host」はどういう意味ですか？

このエラーは、一般にポート 5053 がブロックされている場合に表示されます。

システムクロックは正常なのに “system clock has been set back” エラーが生じるのは何故ですか？

このエラーは、**Windows** または **Winnt** フォルダに将来の日付のファイルが存在することが原因で発生すると考えられます。問題のあるファイルを見つけるには、コマンドプロンプトを起動して、カレントディレクトリを Windows (または Winnt) に変更して、次のコマンドを入力します。

```
dir /od /ta
```

(これにより最終アクセスでソートされた結果が表示されます)

```
dir /od /tw
```

(これにより最終更新時でソートされた結果が表示されます)

以下のコマンドを使って、将来の日付の付いたファイルをアップデートします。

```
copy /b FutureDatedFilename+,,
```

末尾の2つのカンマは、受け側パラメータの省略を意味します。